

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.04.30~05.11

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

5月1日(火)

「南部鉄器」- 富裕層に人気
水沢鋳物協組 / 職人を育成

岩手県の伝統工芸品「南部鉄器」が、中国の富裕層に人気だ。高級品を持つことがステータスになっている。水沢鋳物工業協同組合では、あらためて職人を育てようとする動きもある。(2面)



虎や桜、龍の模様が人気(南部鉄器協組)

5月2日(水)

復旦大学と共同研究
富士通マーケ / 教授ら26人とプロ

富士通マーケティングは、中国の復旦大学と提携した。統合業務ソフト「グロービア」の開発技術者と、復旦大の教授ら総勢26人で共同研究プロジェクトを立ち上げた。(7面)

カイロ・芳香剤で新工場
小林製薬 / 9月完成

小林製薬は、安徽省にカイロや冷却シート、芳香消臭剤などを生産する新工場



を建設する。4月に現地子会社を設立、9月完成予定。旺盛な現地需要の取り込みを狙う。

5月3日(木)

柳沼プレス、中国工場が稼働
自動車関連部品 / 表面処理

柳沼プレス工業は、広東省清遠市の龍湾工業区に新工場が完成、本格稼働させる。自動車関連部品などの表面処理を手がける。自動車鉛メッキと、カチオン電着塗装を各1ライン導入した。(5面)

二次電池生産、中国に全面移管
パナソニック / 貝塚閉鎖

パナソニックは、民生用リチウムイオン二次電池を生産する三洋エナジー貝塚を2012年度内にも閉鎖する検討を始め

た。生産設備は新工場棟で量産を始める。蘇州工場に全面移管する。(7面)

5月4日(金)

旭化成、ポプラの苗8300本
モンゴルの砂漠 / 環境プロ

旭化成は、中国内モンゴル自治区のホルチン砂漠で8300本のポプラの苗を植えた。中国市民の環境保護への関心を高めることが目的。公益プロジェクト「樹が待っている」の一環。(7面)

5月8日(火)

中国の新車、最速で100万台
GM / 通年の記録更新へ

米ゼネラル・モーターズは、中国での2012年の新車販売100万台を突破した。

ASIA

4月30日(月)

タイに射出成形機の新工場
東芝機械 / 年産1000台

東芝機械は、タイに射出成形機の新工場を2014年3月期に建設する。タイとインドネシアを中心とする東南アジアでの自動車需要の増加に対応する。年産約1000台体制とする考え。(6面)

5月1日(火)

2輪車のガソリンホースに参入
ニチリン / 東南アに照準

ニチリンは、2輪車のガソリン燃料用ホース市場に参入した。東南アジアを中心に新興国での2輪車需要の拡大に対応し、ベトナムで生産を始める。さらにインドネシアでも生産する計画。(4面)

N T Tコム、D C増設
シンガポールとマレーシア

N T Tコミュニケーションズは、シンガポールとマレーシアにD Cを開設する。災害からのシステム復旧拠点に、アジアのシステムの中核拠点に。クラウドの主要基盤としても活用。(6面)

5月2日(水)

アジア企業の加盟求む
メーカー・流通の国際協力組織

パリにあるメーカー、流通の国際協力組織、ザ・コンシューマー・グッツ・フォーラムは、日本や東南アジア各国で加盟企業を増強する。日本での加盟76社を90社に引き上げる。(3面)

道路技術で1億円
阪神高速 / 新興国にコンサル

阪神高速道路は、道路技術の国際コンサルティングの売り上げを2020年度に1億円を目指す。アジアやアフリカ向けの取り組みを強化。道路の維持管理や保全技術やノウハウをコンサル。(3面)

東プレ、タイで骨格部品供給
現地協力会社に生産委託

東プレは、タイで車体骨格部品の現地供給を6月に始める。現地の協力会社に生産を委託し、主要顧客である20年度に1億円を目指す。アジアやアフリカ向けの取り組みを強化。道路の維持管理や保全技術やノウハウをコンサル。(3面)

サンデン、タイで操業再開
ロジャナ工業団地 / カーエアコン機器

サンデンは、タイのロジャナ工業団地にカーエアコン機器の生産場所を戻し操業を始めた。洪水で被災し操業停止、ウエルグロ工業団地に仮工場と仮事務所を移設していた。(5面)

インドで輸出100万台達成
スズキ / アジア・欧州向け

スズキは、インド子会社の輸出台数が累計100万台を達成した。1986年の初輸出から26年での達成。近隣のネパールやバングラデシュ、ハンガリーなどの東欧向けに輸出を開始。(5面)

機械工具商社、アジア展開加速
生産シフト対応 / 現法など設立

機械工具商社が、海外展開を加速。コ

ーザーである日系メーカーの海外生産シフトに対応し、販売・サービス体制を整える。中でもアジアで現地法人や駐在員事務所の設立が目立つ。(6面)

タイの商銀通じ被災日系に融資
国際協力銀行 / 総額75億円

国際協力銀行は、タイの商業銀行・カシコン銀行に協調融資、カシコン銀を通じタイ洪水で被災した日系企業に対し復興資金を供給。融資総額は75億円。うちJ B I Cは45億円を拠出。(11面)

5月3日(木)

バンドー化学、ベトナム始動
2輪車向け伝動ベルト

バンドー化学は、ベトナム・フニン省の2輪車向け伝動ベルトの製販子会社が事業を始めた。ベトナム国内の2輪の需要増に対応する。点検・保守や2輪メーカー向けに供給。(5面)

化成品事業、ベトナムで拡大
三谷産業 / 売上高2.5倍

三谷産業は、ベトナム北部での化成品事業を拡大する。需要が急増する塩酸や硫酸、カセイソーダなど基礎化学品の安定供給が狙い。3年後の売上高を2.5倍の約20億円に引き上げる。(8面)

5月4日(金)

T C M、東南アで生産
フォークリフト / タイなど候補

T C Mは、早ければ2013年中に、東南アジアでフォークリフトの現地生産に乗り出す。タイやインドネシアを新工場の有力候補地として、事業化調査。海外生産拠点の新設は約20年ぶり。(1面)

アジアで修理の認定資格
東日製作所 / トルクレンチ

東日製作所は、同社製トルクレンチを販売するアジア地域の代理店に、修理の認定資格を与える制度を6月に始める。現地で製品の修理レベルが維持できるよう継続的に手助け。(1面)

5月4日(金)

ショーワ、ギア部品工場
インドネシア / 年産24万台

ショーワは、インドネシアに新会社を設立し、4輪車用駆動ギア部品の生産拠点を新設する。生産能力は年約24万台で、2013年6月に生産を始める。同国での生産能力は約2倍になる。(4面)

パナホーム、マレーシア進出
戸建て住宅 / 東南アジア仕様

パナホームは、戸建て住宅でマレーシアに2012年度中に進出する。東南アジア仕様のモデル住宅を8月完成。現地の価格ニーズを調査、生産工場などを含めた具体的な施工体制を詰める。(9面)

5月8日(火)

曙ブレーキ、増産体制
インドネシア / 2・4輪車部品

曙ブレーキ工業は、インドネシアで2輪車・4輪車向けのブレーキ部品の増産体制を構築。第1工場からドラムブレーキの生産を隣接地に建設した第2工場に移管。移管規模は月産12万個。(6面)

デンソー、インドに新工場
小型モーターなど / 第6拠点

デンソーは、インド・ジャージャー市に自動車部品の新工場を建設、2013年7月に稼働。現地6拠点目。ワイパーの小

型モーターと、エンジンクーリングモジュールを生産する。(6面)

ケーヒン、インドネシア新工場
設備投資2.3倍 / タイの復旧急ぐ

ケーヒンは、2012年度の設備投資を2.3倍の287億2000万円に大幅増額する。インドネシアで第2工場を建設、タイ拠点の水害復旧費用に充てる。研究開発費も23.6%増の189億1000万円に。(6面)

日立電線、タイで能力増強
ブレーキホース管体

日立電線は、海外での自動車部品生産を増強する。ブレーキホース管体の製造設備の一部をタイの子会社に移管し、現地での生産能力を拡大する。A B Sセンサーをメキシコで生産。(6面)

韓国の国家プロに採用
マグネテックジャパン / 異物除去装置

マグネテックジャパンは、韓国の工科大学向けの次世代二次電池材料用微小金属異物除去装置を受注した。国家プロの次世代材料の開発用プラントに採用される見込み。(8面)

ヘルスケアで日印交流
日本総研 / インド商工会議所

日本総合研究所は、インド商工会議所連合会との間で、医薬品・医療機器・医療サービスといったヘルスケア産業分野における日本・インドの交流促進に向けた覚書を交わした。(12面)

日通、バングラデシュに現法
南アジアの物流網拡充

日本通運は、バングラデシュの首都ダッカに現地法人を設立した。インドとのトラック輸送や、南アジア域内の物流網拡充を進める。自動車や食品、医療関連の進出も始まった。(15面)

インドネシアで精密板金加工
梅田工業 / 日系の需要増

梅田工業は、インドネシア工場で精密板金加工の受注を6月に始める。工場の空きスペースに各種加工機を導入。実績のある2輪・4輪関連など、日系進出企業の需要増に応える。(25面)

5月9日(水)

鴻池運輸、ミャンマーに現法
現地特有の物流 / ノウハウ蓄積

鴻池運輸は、ミャンマーに現地法人を設立し、日系メーカーの進出増加を見込み、現地特有の物流 / ノウハウを蓄積することでメーカーの戦略構築を支援し、顧客獲得に結びつける。(1面)

台湾・特殊鋼メーカー株取得
日立金属 / 中国拠点を活用

日立金属は、台湾の高級特殊鋼メーカー、栄剛材料科技股份有限公司の株式5%を取得する。栄剛が中国市場で持つ事業拠点を活用し、日系企業、現地企業の需要獲得を狙う。(3面)

タイで放電加工機販売
立花エレクトリック / 専任の営業派遣

立花エレクトリックは、2012年度中に、タイで放電加工機など産業メカトロニクス関連商品の販売を始める。専任の営業担当者を派遣。日系企業のほか、現地の自動車部品メーカーなどに提案。(7面)

小倉クラッチ、タイで増産
カーエアコン用 / 年350万台

小倉クラッチは、タイでカーエアコン

GM中国の社長は「6回目でかつ最も早い時期の100万台超え。通年の販売記録更新に向け順調」。(時事=6面)

森精機、天津に新工場
横型MC・NC旋盤 / 月産200台

森精機製作所は、天津市にNC工作機械や周辺機器の工場を建設する。2013年9月操業。中国で人気の高い横型MCやNC旋盤などを月産100台。将来は月産200台体制を整える。(7面)

電子部品各社、自動化を急ぐ
人件費高騰に対応

電子部品各社が、生産の自動化に取り組む。アルプス電気は中国工場でスマートフォン部品の増産と同時に自動化を実施。T D Kはコイルの後工程を自動化。中国での人件費高騰に対応。(9面)

中国の物流に新システム
しまむら / トレンド商品も「混載」

しまむらは、中国で値札付けや店舗別仕分け、梱包などを済ませ、日本のセンターに運び込む「直流」に新システムを導入する。直流に不向きだったトレンド商品も「混載直流」を始める。(15面)

5月9日(水)

富士重、中国工場見送り
世界生産3万台減 / 中計見直し

富士重工業は、2011年度からの5カ年計画を見直し中国工場の建設を見送る。中国工場は同中計の目玉施策だったが、政府から許可を得られなかった。世界生産は3万台減の79万台。(5面)

プロダクション印刷機を拡充
コニカミノルタ / 中・印に照準

コニカミノルタH Dは、プロダクション印刷機の機種を拡充する。先進国に加

え、中国やインド、インドネシアなど人口の多い国に売り込む。事業売上高を80%増の1800億円に。(8面)



用クラッチを増産する。約10億円を投じて既存工場を増築し、2012年末にも生産能力を現在の1.7倍となる年350万台に増やす。(5面)

M P U樹脂部品、台湾に委託
日本特殊陶業 / 収益確保できず

日本特殊陶業は、年内をめどにバスコンなどの超小型演算処理装置(M P U)向け樹脂部品の生産を、業務提携先の台湾・南亜科技に全面委託する。自社生産では収益確保できないと判断。(8面)

交流型サイト、東南ア展開
コムニコ / 開設・運用

コムニコは、海外で参加交流型サイトの開設・運用事業を始める。日本企業の進出が多い東南アジアで事業を強化する。2016年度までに売上高10億円を計画、半分を海外にする。(9面)

5月10日(木)

次世代冷媒、インドに投入
家庭用エアコン / ダイキン工業

ダイキン工業は、インドで生産を計画する現地仕様の家庭用エアコンに、温暖化係数が低い次世代冷媒のハイドロフルオロカーボン(H F C)32を採用する。最新技術を成長市場に投入する。(1面)

不二サッシ、マレーシアで開発
高機能アルミサッシ / S K Bと共同

不二サッシは、マレーシアの建材大手S K Bシャッターズ・マニファクチャリングと高機能アルミサッシの共同開発で覚書を締結した。東南アジアでの供給を検討する。(3面)

エフテック、フィリピンで生産
2輪車用部品拡大

エフテックは、フィリピンで2輪車用部品事業を拡大する。燃料タンクとフレーム製品に続き、8月からアルミダイカスト製のエンジン用ケースカバーと各種樹脂部品の生産を始める。(5面)

インドネシアに製造子会社
パイオラックス / 2輪車用樹脂部品

パイオラックスは、インドネシアの西ジャワ州カラワン県に自動車や2輪車用樹脂部品を製造販売する子会社を6月に設立する。拡大が見込まれる現地需要を獲得するのが狙い。(5面)

東芝、蒸気タービン発電受注
インド / 250億円

東芝は、インド火力発電公社とウッタープラデッシュ州電力会社から石炭火力発電所向け蒸気タービン発電設備(出力66万k W)2台分を受注した。受注額は約3億1500万ドル(約250億円)。(6面)

ベトナム語版大学クラウド
日立 / F P Tと共同

日立製作所は、ベトナムのI T最大手



B 2サイズ対応のデジタル印刷機(開発中=コニカミノルタH D)

5月10日(木)

富士通F I P、中国にD C
大阪・横浜、130億円で増強

富士通F I Pは、今後2年間で、130億円強を投じて大阪と横浜の主力データセンターを増強する。また、中国進出も計画中で、中国電信(チャイナテレコム)と協議に入った。(1面)

二次電池の電解液、中国生産
宇部興産 / 年産5000トン

宇部興産は、江蘇省張家港市にリチウムイオン二次電池用電解液の工場を2013年に新設する。電解液事業で協業する米ダウ・ケミカルの現地拠点に、年産能力5000トンの生産拠点を設ける。(10面)

5月11日(金)

住友ゴム、中国向け新工場
ゴルフボール

住友ゴム工業は、インドネシアにグル

のF P Tソフトウェアと組んで、ベトナム語に翻訳した日立の大学向け基幹システムをクラウドコンピューティング型で現地大学に提供する。(9面)

台湾の技術拠点を増員
積水化成 / 発泡樹脂の用途開発

積水化成成品工業は、台湾の技術拠点を増員する。主力の発泡樹脂製品の新しい用途開発する。自社の技術者20人のうち半数程度を台湾に配置する。センターの実験設備も増強する。(10面)

インドネシア生保の出資上げ
明治安田生命

明治安田生命保険は、出資参画しているインドネシアの中堅生命保険会社アプリストの出資を5%から23%に引き上げ、持分法適用会社化する。生保開拓を強化し経営基盤を固める。(17面)

ミャンマーの証取 - 夢見る
ミャンマー政府関係者 / 東証訪問

来日中のミャンマー政府関係者が、東京証券取引所を訪れ、東証アローズなどを見学した。東証の斉藤啓社長らが出迎えた。東証は大同総研とミャンマーの証券取引所設置で合意している。(17面)

5月11日(金)

ASEANの加盟支援
商標・意匠の国際条約 / 経産省

経済産業省は、商標と意匠の国際条約で、2012年度内にもASEAN各国の加盟に向けた環境整備を支援する日系企業は国際機関を通じて複数国にまとめて出願できるようにする。(1面)

T O W A、サムスンから受注
半導体樹脂封止装置10数台

T O W Aは、独自開発の圧縮成形モールド方式の半導体樹脂封止装置を韓国のサムスン電子から10数台受注した。約20億円。N A N D型フラッシュメモリー製造向けに使われるとみられる。(1面)



東証アローズを見学するミャンマー政府関係者

印・インドネシアに工場
セーレン / 車内装材向け繊維製品

セーレンは、インドとインドネシアで自動車内装材向け繊維製品を現地生産する。両国とも月産能力20万枚。2013年8月稼働。将来はエアバッグ向け、ファッション衣料向けの生産も検討。(2面)

西島製作所インドに保守拠点
ポンプ / 発電所需要伸び

西島製作所は、インドのベンガルール近郊にポンプのメンテナンスサービス工場を新設する。発電所を中心にメンテナンスが伸びているため、自前の工場を持つことにした。(7面)

タイに金型工場
ユーアイ・エンジ / パイプ加工機用

ユーアイ・エンジニアリングは、タイ

ープ企業の新工場が完成。ツーピース(2層)構造のゴルフボールに加え、3層、4層構造を扱う。最大市場の米国に加え、中国などに供給する。(11面)

ひと
内陸部で巻き返す

「中国の内陸部を開拓したい」と意気込むのは日立工機社長の加藤清さん。沿岸部で基盤を築いた今、内陸に力を注ぐ。すでに西安など内陸4都市に電動工具の営業所を新設済み。「日本から人を送り込む」。広州に新工場を完成させた。巻き返しに出る。(1日=5面)

空洞化は避ける

「海外売上高は増えるが、それでは不十分」と小倉クラッチ社長の小倉康宏さん。カーエアコン用クラッチは中国やタイなどでニーズが強い。だが中国や韓国勢とのコスト競争も激しい。「地元に根付いた企業として日本の空洞化は避ける」と戦略を練っている。(3日=5面)

荒波に挑む

「ただ中国に出て行く、という時代ではなくなった」とJ F Eコンテナ社長の中島廣久さん。中国で展開するドラム缶事業で新戦略を練る。「競争は厳しいが中国には投資案件があり刺激になる。淘汰が進めば収益性も上がる」と、荒波のかじ取りに力が入る。(11日=11面)

パイプ加工機用金型工場を2013年8月建設する。パイプベンダー用金型の生産能力を25%増の月約500万個、パイプ加工機は倍増の月約10万台にする。(8面)

インシダ、インドネシア現法
計量・包装機器 / 食品の投資活発化

インシダは、インドネシアのジャカルタに、計量・包装・検査機器の販売子会社を設立。食品メーカーの設備投資が活発化するインドネシアで、計画よりも1年早く駐在員事務所を現法化。(8面)

テルモ、血液バッグなど増産
ベトナム・フィリピン / 工場新増設

テルモは、ベトナムとフィリピンで2013年から15年にかけて工場を新設、拡張して血液バッグやカテーテルなどを増産する。投資額は150億円。世界各国に供給する。(11面)

タイ再開、ラインの再構築工事
味の素冷凍食品 / 2品種年7000トン

味の素冷凍食品は、洪水で停止していたタイでの生産ラインの再構築工事を5月中旬に始める。高生産・高収益性の生産体制に。11月中旬に再開。生産品目は2品種で年間約7000トン。(15面)

TELOP

アジア・豪地域の統括会社
豊田通商 / シンガポール現法(4日9面)

日通、タイ東部に多機能倉庫
チョンブリ県に開設(4日9面)

C P L、2600ドルで攻防
5月 / 宇部興産(8日11面)

日商・東商、東アジア活動強化
視察・セミナー(9日21面)

ひと
洪水の心配ないところで

洪水で水没したロジャナ工業団地に立地「ホンダ以外と取引があったら金型を引き上げたりと供給継続策がなかった」と振り返るのはエフテックの執行役員でタイ生産子会社の社長を務める川戸敬康さん。タイの生産能力拡大は「洪水の心配がないところで」。(2日=5面)

アジアの天然ガスは高い

「原油価格リンクで決まるものとは違う天然ガスを日本に持ってこれないか」と、大阪ガス社長の尾崎裕さん。欧米に比べ、割高なアジアのガス。北米ではシェールガスの登場で急落。「北米で余剰ガスがあれば、その価格でも売りたい生産者もいるはず」と見込む。(3日=8面)

ミャンマー攻略

注目を集めるミャンマービジネス。三井物産社長の飯島彰己さんは「資源・エネルギーに加え、人口も6000万人超あり市場としても成長分野だ」と高い関心。化学や自動車などのビジネスを見据え「調査団を派遣している」。チャイナブラスワンの布石を打つ。(10日=15面)